



No.1 Noodle Restaurant Company

うどん  
りん

第43期 報告書 | 2012年1月21日~2013年3月31日

証券コード:9900



■株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。第43期決算のご報告にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。



14ヶ月と11日間の変則決算となった昨年度は、東日本大震災の復興需要や11月半ば以降は政権交代に伴う経済政策への期待による円安、株高の心理的影響があったものの、国内の実体経済回復には至らず、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境下ではありましたが、当社グループの2013年3月期決算は当初の予想を上回り6期ぶりとなる最終損益の黒字化を達成することができました。これも偏に株主の皆様のご支援の賜と深く感謝いたしております。決算の内容につきましては、当社グループの取り組みや将来ビジョンと共に、本誌に記載しておりますので、ご高覧戴ければ幸いに存じます。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

代表取締役社長 鎌田 敏行

# 改革の実行で、6期

**Q. 当期の業績とその特徴を教えてください。**

**鎌田** 当社グループでは、「No.1 Noodle Restaurant Company」をグループビジョンに掲げ、「サービス向上」、「グループ経営の強化」、「科学的経営の推進」、「研修制度の拡充」などに取り組んで参りました。主な内容は、店舗の覆面調査全店導入やご高齢者向けの「やわらか食」の開発、カット野菜工場の新設、食材・資材の一部直輸入化、FLR（食材費、人件費、家賃）及びその他費用の管理推進、更にはグローバル社員育成を目的として、100名を2週間ずつ上海に順次送る海外研修などが挙げられます。結果として業績も大きく改善し、連結の売上高22,599百万円、営業利益656百万円、経常利益672百万円、当期純利益447百万円、そして5期ぶりの復配（1株当たり5円）を達成することができました。

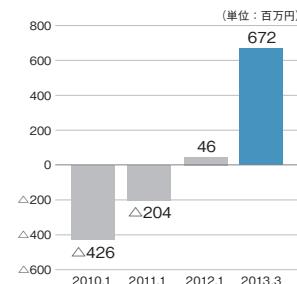
**Q. この一年を振り返り改革や改善はどのようなかたちで浸透していますか。**

**鎌田** 昨年に引き続き「組織改革」、「制度改革」、「意識

●連結売上高



●連結経常利益



(注) 当期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間

# ぶりの黒字化を実現

改革」を更に深化させました。組織改革では、子会社で「どんだん庵」等を担当する(株)ディー・ディー・エーの本部をサガミチェーン本社ビルに移転して管理部門を統合し、守山工場を閉鎖すると共に尾西工場に統合しました。また、制度改革では、成果主義を強めた新人事制度や、将来の経営者育成を目的として1年任期の執行役員制度を導入し、意識改革では、社内公募制度の拡充、5年を最大とする人事異動(ジョブローテーション)の徹底を行いました。スピード感を持って取り組んだことが、業績の改善に繋がったものと確信しております。

## Q. 組織改革、制度改革、意識改革を進めている中で、従業員一人ひとりに何を期待していますか。

鎌田 私は、日頃から「まずはT型、そしてΠ(パイ)型人間になろう」と言っております。これは、広く浅い知識に加えて一つで良いので深い専門性を身につけよう、そしてその次は深い専門性を持つ分野をもう一つ持とう、という意味です。個々人が一回りも二回りも大き



くなれば、結果として、所属する組織が、そして会社全体、グループ全体が発展することに繋がると考えております。会社が何かをしてくれるのではなく、自分が会社に如何に貢献するかを考えることによって主体的に生きる人生の幅が広がります。最終的には、成長の場を提供している、そして共に成長するサガミグループで働くことに大いに誇りを持って欲しいと思っております。

## Q. 先頃、自己株式の処分により資金調達を行いました。その狙いと調達資金の活用についてお聞かせください。

鎌田 自己株式の処分には3つの側面があります。1つ

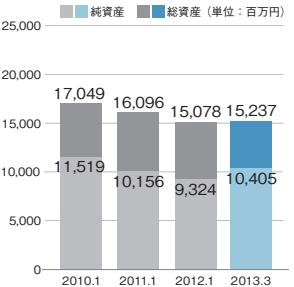
●連結当期純利益 (単位:百万円)



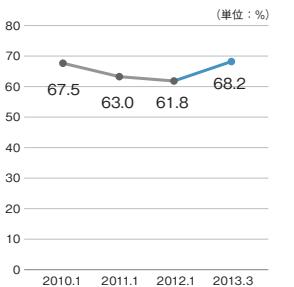
●連結1株当たり当期純利益 (単位:円)



●連結純資産・連結総資産 (単位:百万円)



●連結自己資本比率 (単位:%)



となる平成25年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。



目は財務体質の改善、2つ目が資金調達、3つ目が早期の復配となります。財務体質の改善については、純資産の自己株式のマイナスが減少することによって、自己資本比率が上昇し、結果、財務体質の改善に繋がります。資金調達については、国内店舗の改装費用および出店費用、更には海外への出店費用を自己資金でまかなうこととなります。最後の復配についてですが、財務体質が改善することから、配当原資を確保でき、5期ぶりとなる復配を実現することができました。

### Q. 海外戦略についてお聞かせください。

鎌田 海外戦略については、2012年1月に名古屋市中区丸の内に海外でのFC展開を目的としてプロトタイプ店「盛賀美」を出店し、FCマニュアルの作成を順次進めています。更には2013年3月に約1ヶ月間インド

ネシアにおいて、テストマーケティングを実施し、海外における「そば」に対するデータの収集を行い、メニュー、立地、店舗営業のマニュアル化を進めています。現在、東アジア・ASEAN諸国では日本食に注目が集まっております。当社では海外での事業拡大を目的としてSAGAMI INTERNATIONAL CO., LTD.（東アジアを統括）を香港に当期設立したのにつき、2013年度になりますが、SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.（ASEAN諸国を統括）を設立いたしました。これにより、東アジア・ASEAN諸国への進出の準備は整ったこととなります。産業界では「チャイナ+1」の動きが広がっておりますが、当社では「チャイナ+1、2、3」で進めて行く方針です。

### Q. 決算期を1月20日から3月31日に変更しました。その狙いを含めて、株主の皆様メッセージをお願いします。

鎌田 当社では長年、上期の赤字を下期の黒字で埋める構造となっておりましたので、上期から黒字化できるように平均化することで株主の皆様へ当社の決算状況をより安心してお見守り戴けるようにすることを目的としたものです。しかし、販売促進や経費削減等の施策の奏功により、以前の12ヶ月でも、売上が低迷する2、3月期を2度含む14ヶ月11日間でも「サガミ」全店が黒字化するなど当初予想を大きく上回る結果となりました。

経営体質の改善により、当期は5期ぶりに復配を達成することができました。当社グループでは、今後ともお客様から更なるご支持を戴けるよう鋭意努力して参りますので、株主の皆様には今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 『サガミの八味唐がらし』を实用新案登録

当社では、『サガミの八味唐がらし』の实用新案登録をいたしました。八味唐がらしは三辛(唐辛子・山椒・胡椒)五香(胡麻・陳皮・青さ・麻の実・ケシの実)の8種類の香辛料を絶妙のバランスでブレンドしております。サガミ自慢の『みそ煮込』をより美味しくお召し上がりいただけるようにとの思いから開発いたしました。みそ煮込だけでなく、ご家庭でも様々な料理にご利用していただける商品となっております。

この『サガミの八味唐がらし』の特徴は、8種類の香辛料をブレンドしているだけでなく、形や比重の異なる各香辛料をあえて粗挽きでバランスよくブレンドしており、ご利用直前に付属のミルで挽くことにより、香辛料の香りがより一層引き立つ工夫をしております。

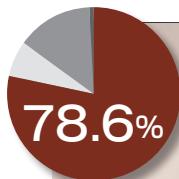
- 『サガミの八味唐がらし』・・・税込630円  
和食麵処「サガミ」の各店舗で販売しております。



## 優良外食産業表彰で農林水産大臣賞を受賞

この度、当社は2013年3月21日に「第21回優良外食産業表彰 地産地消推進部門 農林水産大臣賞」を受賞いたしました。この賞は、農林水産省が農林水産業との連携、消費者ニーズに対応したサービスの提供、環境への配慮など創意工夫を活かした事業に取り組んでいる外食業者等を表彰するものです。今後も、当社は地域経済の活性化、フードマイレージの削減、地域の食材、食文化への貢献などを図り、地域の皆様に愛される店舗づくりをいたします。





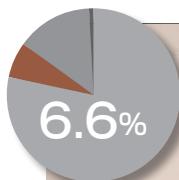
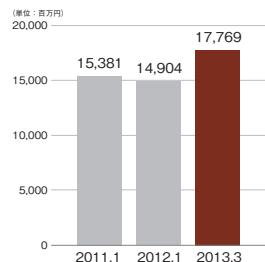
## 和食麺類部門

17,769 百万円

全店販売促進企画として「季節の料理フェア」を9回、「大感謝祭」を4回実施したほか、愛知県・三重県・富山県・岐阜県・奈良県・静岡県で「こだわりテレビCM」を放映いたしました。既存店客数は、前年同期比で0.6%減となりましたが、客単価が前年同期比1.7%増

となったため、既存店売上高は前年同期比1.1%増となりました。店舗関係では、業態転換のために「河内天美店」と「小田原店」を閉鎖し、また、契約満了により「安城店」を閉鎖いたしました。期末での和食麺類部門の店舗数は127店舗であります。

■対象店舗



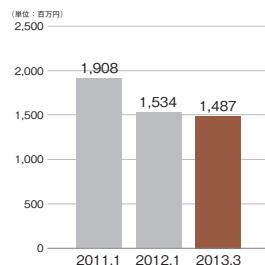
## どんどん庵部門

1,487 百万円

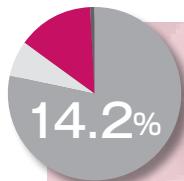
営業面では「どんどん祭り」を4回、「季節の料理フェア」を6回実施いたしました。店舗関係では、新業態である「まるど食堂 上田楽店」を出店し、また、不採算店および業態転換のために17店舗を閉鎖いたしました。期

末でのどんどん庵部門の店舗数は47店舗であります。

■対象店舗



(注) 当期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる平成25年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となり、対前期比増減率は記載しておりません。



## その他の部門

# 3,209 百万円



大型セルフうどんの「製麺大学」において、「大学祭」を5回、「季節の料理フェア」を5回実施いたしました。また、団欒食堂「あいそ家」においては、「感謝祭」を2回、「季節の料理フェア」を3回実施いたしました。店舗関係では、グループ内での業態転換として、ごはん処「平子橋食堂」、牛タンと十割そば「盛賀美 小田原店」、そして新業態である和風ビュッフェ「もんぺとくわ」、更にフランチャイジーとして、「丸源ラーメン 河内天美店」「かつや 愛知日進店」を出店いたしました。また、関東方面への認知度アップを念頭に、サガミグループとして高速道路に初出店となる

「陣屋サガミ」(東名高速道路上り線 新城パーキングエリア)を出店し、東京青山においては、都心型店で初出店となる「盛賀美 青山店」を出店いたしました。海外戦略では、中国上海において「盛賀美 延安西路店」を出店し、「盛賀美 福州路店」の移転を行いました。一方、国内では「あいそ家 (三好店、城山店)」、「たい夢 東浦店」の3店舗を閉鎖し、中国上海では「盛賀美 (虹橋店、南京西路店、浦東商城路店)」の3店舗を閉鎖いたしました。期末でのその他の部門の店舗数は、国内は29店舗、中国上海4店舗となり合計33店舗であります。



## 石挽処 ネーミングライツ (命名権) を販売

当社では、和食麺処「サガミ」全店舗の店頭に設置しております『石挽処』のネーミングライツを販売いたしました。

ネーミングライツの販売は愛知県・三重県・岐阜県の和食麺処「サガミ」74店舗で、2013年2月28日まで受付を行いました。『石挽処』は各店舗1箇所ずつしか無いため、お申込み戴いた中から抽選にて1店舗1名 (又は1企業) の方に販売させて戴き、ご購入戴いたお客様には、ご希望のお名前を『石挽処』に掲げさせて戴くと共に、

和食麺処「サガミ」の大人気商品である「ざるそば2段」の無料券190枚 (149,530円相当) を進呈させて戴きました。尚、ネーミングライツの販売価格は30,000円 (税込) で掲示期間は2013年9月30日までとなっております。



## 連結財務諸表(要約)

(注) 当期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる平成25年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

### ■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	2013年3月31日現在	2012年1月20日現在
<b>資産の部</b>		
<b>1</b> 流動資産	3,984	3,595
固定資産	11,252	11,482
有形固定資産	8,171	8,291
無形固定資産	132	152
投資その他の資産	2,947	3,039
資産合計	15,237	15,078
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,133	3,171
<b>2</b> 固定負債	1,697	2,581
負債合計	4,831	5,753
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,334	9,512
資本金	6,303	6,303
<b>3</b> 資本剰余金	3,405	7,256
利益剰余金	626	△3,481
<b>4</b> 自己株式	△1	△567
その他の包括利益累計額	57	△187
少数株主持分	12	—
純資産合計	10,405	9,324
負債・純資産合計	15,237	15,078

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	2012年1月21日から 2013年3月31日まで	2011年1月21日から 2012年1月20日まで
売上高	22,599	19,561
売上原価	6,893	6,071
売上総利益	15,705	13,490
販売費及び一般管理費	15,049	13,446
営業利益	656	43
営業外収益	84	55
営業外費用	68	52
経常利益	672	46
特別利益	8	146
特別損失	152	854
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	528	△662
法人税、住民税及び事業税	94	89
法人税等調整額	△9	△11
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	2
当期純利益又は当期純損失(△)	447	△742

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	2012年1月21日から 2013年3月31日まで	2011年1月21日から 2012年1月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	281	589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301	114
財務活動によるキャッシュ・フロー	92	△300
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100	402
現金及び現金同等物の期首残高	3,017	2,614
現金及び現金同等物の期末残高	3,118	3,017

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ① 財務のポイント

- 1 流動資産:** 流動資産は3,984百万円と前連結会計年度末に比べ389百万円増加しました。これは主に有価証券242百万円の増加によるものです。
- 2 固定負債:** 固定負債は1,697百万円と前連結会計年度末に比べ883百万円減少いたしました。これは主に長期借入金800百万円の減少によるものです。

- 3 資本剰余金:** 昨年の株主総会決議により、資本剰余金は3,849百万円減少いたしました。
- 4 自己株式:** 自己株式は、第三者割当による自己株式処分を行ったために、565百万円減少いたしました。



(2013年3月31日現在)

## ■会社概要

商号	株式会社サガミチェーン
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	6,303,521,149円
従業員数	607名
本社	名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
店舗数	207店舗
グループ企業	株式会社ディー・ディー・エー 株式会社サガミフード(旧:株式会社 エー・エス・サガミ) 株式会社サガミサービス 上海盛賀美餐飲有限公司 SAGAMI INTERNATIONAL CO.,LTD.

## ■役員 (2013年6月26日現在)

代表取締役社長	鎌田敏行
専務取締役	伊藤修二
取締役	長谷川喜昭
取締役	伊垣政利
取締役	長屋昇
取締役	千住憲夫
常勤監査役	藤井博規
常勤監査役	神田敏行
監査役	井口浩治

- (注) 1. 取締役 千住憲夫氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役 藤井博規および井口浩治の両氏は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

## ■株式情報

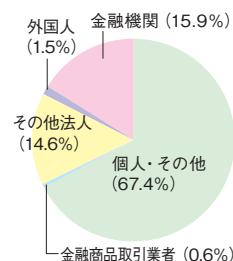
- 発行可能株式総数 74,630,000株
- 発行済株式総数 24,972,784株
- 株主数 13,711名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	999	4.0
株式会社愛知銀行	749	3.0
北村昌夫	739	3.0
岩月康之	611	2.5
サガミ共栄会	518	2.1
栗本美子	460	1.8
株式会社昭和	424	1.7
第一生命保険株式会社	399	1.6
大嶋つき子	375	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	314	1.3

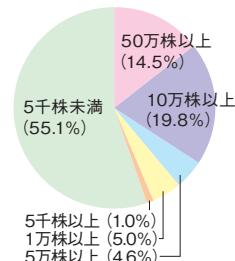
(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

## 5. 株式分布状況

①所有者別分布



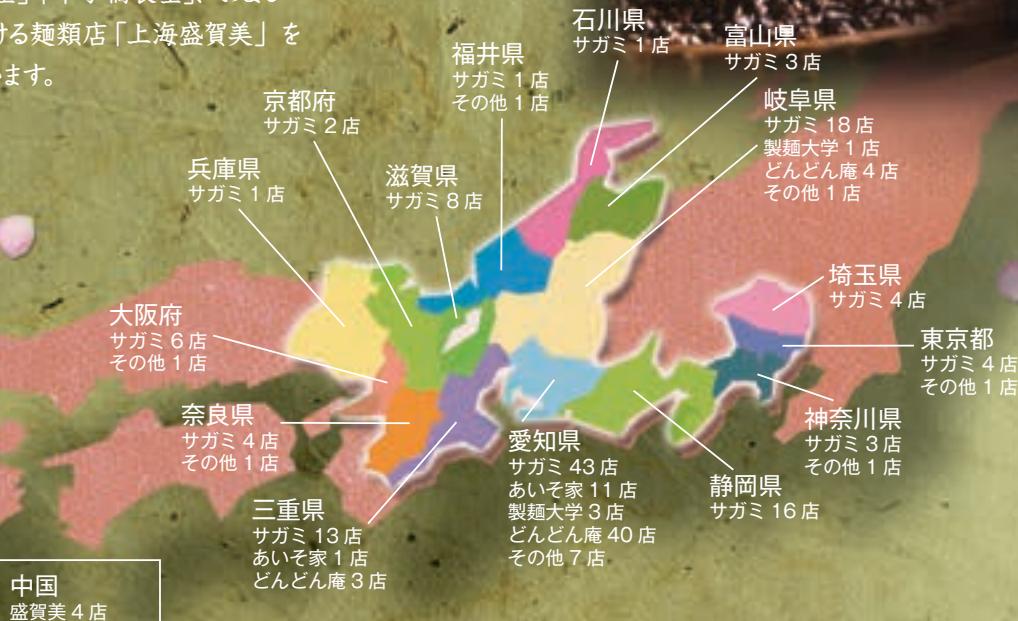
②所有株式数別分布



# 店舗ネットワーク

(2013年3月31日現在)

当社グループは、和食麺処の「サガミ」のほか、「どんどん庵」「あいそ家」「さがみ庭」「製麺大学」「もんぺとくわ」「盛賀美」「陣屋サガミ」「まるど食堂」「平子橋食堂」、および中国における麺類店「上海盛賀美」を展開しています。



合計207店舗

## 海外子会社 (香港) SAGAMI INTERNATIONAL CO.,LTD.を設立

現在、東アジア・ASEAN諸国では、従来以上に日本食に注目が集まっており、当社において、海外での事業展開は重要な成長戦略の一つと位置付けております。東アジア地域での事業拡大、および成長戦略を推し進めていくために、香港にSAGAMI INTERNATIONAL CO.,LTD.を設立いたしました。

## サガミ

127店舗



和食の原点とも言えるそば、うどんのおいしさを中心にして独自のチェーン展開を行ってきた「サガミ」。より気軽に、楽しく「和」のおいしさを味わっていただくため私たちが選んだのは、全店直営というスタイル。それは経営思想はもちろん、私たちが目指す最大限のおもてなしを、店舗運営の隅々にまで行き届かせるためのもの。もちろんそこに確立されているのは、店舗のデザインに始まり、接客スタイル、メニュー構成、営業時間にいたるまで、すべてはお客様の声に応え、より喜ばれるために築き上げてきた有形、無形の「サガミ」らしさの集積です。



## どんどん庵

47店舗



セルフ式の麺類店を展開中。メニューは「うどん」「きしめん」「そば」「丼」を中心に「天ぷら」など。また、あんかけスパゲティの店舗も展開しております。

## あいそ家

12店舗



カジュアルなお店がコンセプト。毎日でも来店していただけるお店、家庭の食卓と同じ感覚で利用してもらえるお店・・・そんな身近なお店をイメージしています。

## さがみ庭

1店舗



嵯峨野の美味を味わう。ゆったりと、たゆとう時空間の中で味わう「和の食」。大切な方のおもてなし、お仲間同士の会食に。

## 製麺大学

4店舗



当社の麺に対するこだわりを、よりお客様に身近に感じていただくために、粉の配合から、熟成・製麺にいたるすべての工程を店内で行う、大型セルフうどん店です。

## 盛賀美

4店舗



世界においても、味にこだわり続けます。上海のお客様に本格的な「日本のうどん」を食べていただきたい。そんな願いを込めて提供しております。

## ■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで ※事業年度の変更に伴い、定時株主総会、配当金受領株主確定日、基準日が変更になっております。	公告方法	電子公告 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月下旬	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	インターネットホームページ	http://www.sagami.co.jp/
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>		

## ■復興特別所得税に関するご案内

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、2013年1月1日から2037年12月末まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることになりました。

## ■株主優待のご案内

当社株式を1,000株以上保有されている株主の皆様方に、年間一律3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券(1万5千円を年2回)を贈呈しています。これは、株主の皆様へ、当社のこだわりの味を実際に味わっていただくことが目的です。1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「あいそ家」「さがみ庭」「どんどん庵」「製麺大学」「もんべとくわ」「盛賀美」「陣屋サガミ」「まるど食堂」「サガミ村」全店でご利用いただけます。



《 権利確定日：毎年3月31日、9月30日 》  
《 発送予定：毎年6月下旬、12月中旬 》

# 株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地 電話 (052) 771-2126

